

以前とは異なり、メールで簡単に連絡が取れるため、輸入はさほど難しくありません。オーダーをし、受け取る、という国内の発注とほぼ変わりません。通関などもほとんどを配送業者が行ってくれますし、海外送金も銀行で簡単にできます。

肝心なのは、顔を合わせるチャンスがある展示会で、信頼を深め、コミュニケーションをとっておくこと、また、契約書をきちんと確認し、不安点を解消しておくことが大切です。

下記は簡単な流れを記載してあります。参考にしてみてください。

1、展示会会場に着いたら...

色々歩き、いくつかのブースの人と話してみ、雰囲気や、そのブランドの特徴を知り、欲しいものなどを決めます。何を買うか、どれくらい、どのサイズを買うかなど決めます。また、自分のショップ、今後持つ予定のショップの大まかな案内、名刺などをお渡しするとスムーズです。海外の方は日本人の名前を覚えにくいので、正しいメールアドレスなどを教えておくことが大切です。プレイタイムには、経験があるスタッフがおりますので困ったときにはご相談ください。



発注したい商品があった場合は、最小ロット、納期、購入条件などを確認し、Sales Note (注文請負書、発注書)を作成してもらいましょう。また、決めかねる時は、最終的なオーダーがいつまで可能なのかを確認します。確認事項は下をチェックしましょう。



写真を撮りたい場合は、必ず確認してから行きます。次のシーズンの商品ですので、SNSなどで使用したい場合は、いつから掲載して良いか、などの確認をします。ブランドの許可なしに上げるのはやめましょう。



また、Confirmation (確認書)は作成してくれるのか、いつ頃届くのかを確認しましょう。

【Sales Note(注文請負書・買約書)で確認すべきこと】

*確認したらサインをし、コピーをもらいましょう。こちらの連絡先が正しく記載されているか確認します。

- 契約日
- 購入先会社名、住所
- オーダーのサイズ、素材などの確認
- オーダーの合計数量確認
- オーダーの合計金額確認

通貨の単位に注意! EUR, USD、もしくは日本円なのか、明記してもらおう。

- 納期の確認(出荷時期)

春物:1月末、2月10日が最終であることが多い

秋物:7月末、8月15日が最終であることが多い

ただし、ショップの場所により、北海道なら春はゆっくりめ、秋冬は早めなど希望がある場合は、いつ頃の納期が良いのかを確認しておくこと。日本に到着の時期ではなく、現地の空港に届く時期であることが多いので注意が必要です。

- お支払いの日程、方法の確認

前金3分の1を、海外銀行送金し、残りの3分の2を出荷直前に支払うことが一般的ですが、希望があれば確認しましょう

- 取引条件の確認

デリバリーの条件がFOBかの確認。現在はFOBが多い。FOBについては下記、取引条件の箇所を参照ください。

- 梱包方法の確認

*食品、乳幼児が口に入れるもの、哺乳瓶は食品衛生法の「器具」に該当し、輸入に際しては厚生労働省検疫所に輸入届出をすることが義務づけられています。届け時には「食品等輸入届出書」などが必要な場合があります。問い合わせたい場合は下記を参照ください。

> http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/kigu/index.html

> <https://www.mipro.or.jp/Document/index.html#d1>

2、Confirmation (オーダー確認書)を貰ったら...

上記で確認したことに間違いがないか、Confirmation(オーダー確認書)を送ってもらいます。そちらを再度確認します。

問題がなければ、上記で確認した日付、決済方法でお支払いを行います。多くは3分の1の前金、海外銀行送金であることが多い。ユーロ、ドルなどの海外送金の場合は、外国為替扱っている銀行で送金できます。

ATMではできず、窓口になりますが、記載方法を教えてください。インボイスを持って相談に行くともスムーズです。クレジットカード支払いが可能な会社もありますが、多くはありません。PayPalは少し増えてきているようですがまだまだ海外送金が多いと思われます。楽天バンクや、Docomoなどでも海外送金が安くできるところもあるようですのでそちらを利用するのも良いかと思えます。

三井住友信託銀行の場合は右のような用紙になります。
> <http://www.smtb.jp/personal/saving/foreign/faq/sample02.html>

オーダー用紙に書いてある言葉がわからないときは、商工会議所のHPを参照しましょう。
> <https://www.tokyo-cci.or.jp/soudan/globalsupport/pdf/work.pdf>

参照: <http://www.smtb.jp/>

3、仕上がりの連絡が来たら...

メーカーより仕上がったとの連絡が来たら、最終的な金額を確認します。実際作ってみたら、生地が足りず、1個不足した、などということがあるので、最終金額を確認します。また、大体が言わなくても記載してくれますが、念のため、invoice(請求書)に原産国表示をしてもらうように伝えます。Made In Italyなど記載があれば問題ありません。



最終の金額から、以前払った分の残りの金額を前回と同じように送金します。



希望の配送業者があれば伝えます。(UPS, FedExなど)アカウントを持っている場合は、そのアカウントをメーカーに伝えます。配送が完了したら、追跡番号を教えてください。

4、商品が日本に到着したら...

FedExやUPSの方が対応してくれます。通関で問題がない限り、国内の荷物と同じように、指定された場所に到着します。だし、Invoice(請求書)に不備があった場合や、配送業者が確認したいことがあったときは、連絡が来ます。連絡が取れる電話番号を記載しておきましょう。荷物が配送しているにも関わらず届かない場合などは配送業者の通関担当に問い合わせます。Invoice(請求書)や配送伝票は念のため捨てずに取っておくようにしましょう。



関税などは、通関業者(配送業者のことも)が立て替えて支払ってくれることが多いので、荷物の受け取りの時に支払います。また、金額が大きい時は、振込用紙が送られて来ます。商品にもよりますが、10%-15%くらいが目安です。刺繍があるものや特殊な加工があるものなどは少し高くなります。



フェイクの革靴は問題ありませんが、本物の革靴は、Import Quota(輸入割当制)が必要になります。経済産業省のHPを参照ください
> http://www.meti.go.jp/policy/external_economy/trade_control/03_import/01_kanwari/kanwari.html

参考

商品の上代(店頭での売値)には、下記のものが含まれます。これらのものを踏まえて金額を付けるようにしましょう。大体FOB(下記取引条件を参照)の商品価格の大体25%~30%が下記のような費用にかかりますので、考慮して値段を決めます。(ロットが小さければ小さいほど高くなります)

仕入れ代金(展示会までの交通費など)
海外輸送料金(契約により必要)
保険料
関税(商品価格+輸送料+保険料)×関税率*
消費税((商品価格+輸送料+保険料)×関税率)消費税率*
輸送通関諸費用(貨物輸送の場合)
国内輸送料(ヤマト運輸、佐川急便のコストなど)
保管料(在庫管理が必要な場合)
決済関連手数料
立替金利
銀行手数料
検査代金(検査が必要な場合)
表示ラベル費用、梱包費用

*関税率は財務省貿易統計のHPより確認できます
> <http://www.customs.go.jp/tariff/>

取引条件について

• Free on Board (FOB)

本船渡し条件のこと。海外の工場から海外の空港までの費用はメーカー持ち、飛行機の送料から日本国内の輸送費用は買い手が負担すること。一番メジャーな取引方法。

• EX-Factory, EX-Works

工場渡し条件のこと。海外の工場を出てからのすべての送料、など費用を負担すること。

• EX-Warehouse

倉庫渡し条件のこと。海外の倉庫を出てからの費用を全部負担すること。

• Cost, Insurance and Freight (CIF)

運賃保険料込条件のこと。日本に着くまでの費用をブランドが持ってくれること。

• Delivered Duty Paid (DDP)

到着地関税込み条件のこと。国内までのすべての送料などをブランドが負担すること

• Delivered At Terminal (DAT)

到着地ターミナル渡し条件のこと

よく使われる英単語は...

Agency Agreement > 代理店契約
Airway Bill(AWB) > 航空貨物運送状
Back order > 注文品で出荷されていないもの
B/L(Bill of Landing) > 船荷証券
Carton(C/T) > 梱包方法。段ボールなど
Customs Charge > 通関手数料
Description > 商品詳細
Form A > 日本以外で発行された原産地証明書
Freight Forwarder > フォワーダーとも言う。UPSやFedExといった荷物の運送業者
Freight Collect > 運賃等着払い

Guarantee > 保証
I/D(Import Declaration) > 輸入申告
Invoice > 請求書
Inspection Certificate > 検査証明書
Quotation > 見積書
Sales order > 販売契約書
Signature > サイン
Stock > 在庫
Tracking number > 配送番号・追跡番号
Warranty > 品質保証